

Course number		G-LAS00 80006 SJ44							
Course title (and course title in English)		アントレプレナーシップ演習 Entrepreneurship Exercises			Instructor's name, job title, and department of affiliation		Office of Institutional Advancement and Communications Project Professor,KITANI TETSUO Office of Institutional Advancement and Communications Program-Specific Associate Professor,MATSUYUKI TERUMASA		
Group		Common Graduate Courses		Field(Classification)		Social Responsibility and Profitability			
Language of instruction		Japanese			Old group		Number of credits		2
Hours		30	Class style		Seminar (Face-to-face course)		Year/semesters		2026・Intensive, Second semester
Days and periods		Intensive 10/17.10/31.11/14.11/ 28.12/12		Target year		Graduate students		Eligible students For all majors	
[Overview and purpose of the course]									
専門分野についての高度な知識を持つ大学院生にとって、企業という形態を通じた社会における研究成果の活用の方法や、独自の研究テーマをさらに深めるための多様な資源獲得の手法について、幅広い理解が欠かせない時代となっている。特に欧米においては研究者が事業化を目指すことで、幅広い投資家から研究資金を調達することが一般化しており、自分の志す研究を深めるために、アントレプレナーシップの果たす役割は大きくなっている。									
アントレプレナーシップの定義は“ The pursuit of opportunity beyond the resources you currently control ”（現在所持する資源を超えた機会を追求すること）とされ、アントレプレナーにとって必要なスキルとしてはOpportunity Recognition（事業機会の特定）とResource Acquisition（資源の調達）が重要となる。									
本授業では、前者の事業機会の特定に重点を置き、アントレプレナーの活動をシミュレーションする。事業アイデアの創造、技術の探索、仮説の検証、ビジネスモデルの構築といった一連のプロセスを、講義とグループワークの組み合わせを通じて体感していく。									
[Course objectives]									
受講生は、講義で具体的な手法について学ぶと同時に、それぞれの主体的な興味・関心に基づくテーマを選び、グループワークを行う。受講生は、グループワークを通じて起業のプロセスを実体験する中で、下記の3点について理解を深めることを目的とする。									
1）起業において必要な方法論、特に事業機会を特定する手法について学ぶ 2）起業におけるコミュニケーション、チームワーク、リーダーシップの重要性について理解を深める 3）研究成果と社会との連結について理解を深める									
[Course schedule and contents]									
グループワークで起業プロセスのシミュレーションを行う。以下のトピックについて、それぞれ授業を実施する。									
1日目 イン트로ダクション、未来年表： スタートアップのコンセプトを学習する。将来の制度や生活者のニーズの変化を予測し、事業の可									
Continue to アントレプレナーシップ演習(2)↓↓↓									

アントレプレナーシップ演習(2)

能性を考える。

2日目 海外事例分析：

リーン海外のイノベーション事例分析をもとにアイデア創出を行い、発表、ディスカッションを行う。

3日目 アイディエーション：

マイクロトレンド（ミクロな変化の兆しへの着目）、メタファー（動植物をヒントにするバイオミミクリーなど）などの手法を用いて、ビジネスアイデア創出を行う。（技術イノベーション事業化コースと合同）

4日目 ビジネスモデル：

顧客ニーズ、提供価値、収入・コストを含むアイデア全体について仮説を立て、外部インタビュー等で検証・修正を行う。

5日目 プレゼンテーション：

最終プレゼンテーションを行う。真剣な投資検討の対象になりうるレベルを目指す。

隔週土曜日（13時—17時半）

1日目 10月17日(土)

2日目 10月31日(土)

3日目 11月14日(土)

4日目 11月28日(土)

5日目 12月12日(土)

[Course requirements]

大学院教育支援機構が提供する「産学協同教育コース」をコース履修する際には、本科目受講後に「技術イノベーション事業化コース」を受講することが望ましい。

事前に以下の受講を推奨

「アントレプレナーシップ入門」（大学院共通、前期集中）

[Evaluation methods and policy]

授業中に課す個人レポート 20%

最終発表 40%

グループワークにおけるチームワーク、コミュニケーション 20%

授業への貢献（出席・発言）20%

[Textbooks]

エリック・リース 『リーン・スタートアップ』（新潮社）ISBN:978-4-8222-4897-0

[References, etc.]

（References, etc.）

Introduced during class

Continue to アントレプレナーシップ演習(3) ↓ ↓ ↓

アントレプレナーシップ演習(3)

(Related URL)

<https://www.saci.kyoto-u.ac.jp/ims/>((授業についての予備知識・関連イベント等))

[Study outside of class (preparation and review)]

授業初日に提出する事前課題あり。課題内容については授業登録者にたいしてLMS等で連絡します。

[Other information (office hours, etc.)]

●本科目は大学院教育支援機構が提供する「産学協同教育コース」を構成する科目であるが、コース履修に関わらず本科目のみ受講することも可能です。

●質問等がある場合は以下まで

kitani.tetsuo.2s★kyoto-u.ac.jp (★→@)

面談希望の場合は事前に上記メールでアポをお願いします

[Essential courses]